

国選被害者参加報告書記載に当たっての主な注意点

報告書への記載漏れや書類不備があると、支給の可否が判断できず、報酬等が不支給となる場合があります。報告書提出前に、ご確認をお願いします。

【国選被害者参加】報告書（第一審）

提出日 年 月 日

弁護士 一般 スタッフ（登録番号 ） 通常/裁判員 通常裁判 / 裁判員裁判

被害者参加人 *複数の場合すべて記入	以上	名	裁判所名・事件番号	地
被告人			選定日	令和
起訴日	年	月	日	判決日
罪名(罰条) *特別法犯については必ず罰条を記載してください				
被告人が複数のため、複数の審理があった。 *起訴状などを入手されている場合は写しを添付してください。	<input type="checkbox"/> 有	事件番号: 年()第 号被告人: 罪名: 起訴日: 年 月 日 判決日: 年 月 日	事件番号: 年()第 号被告人: 罪名: 起訴日: 年 月 日 判決日: 年 月 日	
活動終了日	年	月	日	<input type="radio"/> 上訴提起期間満了 <input type="radio"/> 検察官による上訴 <input type="radio"/> 選定取消し <input type="radio"/> その他
委託されなかった行為	<input type="checkbox"/> なし / <input type="checkbox"/> 公判期日への出席 <input type="checkbox"/> 検察官への意見等 <input type="checkbox"/> 証人尋問 <input type="checkbox"/> 被告人質問 <input type="checkbox"/> 意見陳述			

【選定日】
選定通知書に記載されている選定日を記載してください。
※ 選定日前の活動は算定の対象外です。

「同一の事件（※）」に該当する場合は、記載してください。

※ 同一の事件
同一の被告人が同じ機会に複数の犯罪を犯しても、社会的事実として1つの事件といえるもの（強盗事件で夫婦が殺害された場合など）は同一事件と考えます。
また、同様に、被告人が複数いる共犯事件の場合も、たとえ審理や罪名、事件番号などが違っていても同一事件として算定を行います。

【活動終了日】
※ 判決日と活動終了日は、同じではありませんのでご注意ください。

活動終了事由	活動終了日
上訴期間満了	判決宣告日の翌日から 14日 目
検察官による上訴（※）	検察官が控訴・上告した日
選定取消し	選定取消日
公訴棄却決定後、即時抗告期間が満了	裁判の告知を受けた日の翌日から 3日 目
上告審判決後、判決訂正申立期間が満了	判決宣告日の翌日から 10日 目

※ 被告人側のみが控訴・上告した場合、活動終了事由は「上訴期間満了」になります。
※ 活動終了日が休日の場合は、翌営業日が活動終了日となります。

公判期日等	立会時間	備考	公判内容
*書ききれない場合は別紙「【国選被害者参加】継続用紙①」に記載してください。	*午前と午後に分かれた場合は、それぞれを分けて記載してください。必ず出席した公判1回目から記載してください。	*次の事項がある場合は、その旨備考に記載してください(その他公判時間と立会時間が一致しない理由があれば記載してください)。①休廷があり、休廷時間中に当該国選被害者参加事件について時間的拘束をうけていない場合は、その時間。②前の事件が長引き、開廷が遅れた。	*出席した期日のみ記載してください。
年 月 日	～	休廷()分	<input type="radio"/> 実質
年 月 日	～	休廷()分	<input type="radio"/> 実質
年 月 日	～	休廷()分	<input type="radio"/> 実質
年 月 日	～	休廷()分	<input type="radio"/> 実質

【公判期日等】
日付間違いが多いため、ご注意ください。

【休廷時間】
裁判員裁判事件の場合は、休廷時間の記載が必須です。

【立会時間】
大幅に時間が違うケースがあるためご注意ください。

整理手続対応	打合せ・協議等をした検察官の氏名、検察庁の名称、打合せ・協議等の日時及び場所	手続の種類	対応する整理手続期日
検察官: 年 月 日 時 分 ~ 時 分 / 場所: 検察庁 支部		①公判前整理手続・②期日間整理手続	年 月 日
検察官: 年 月 日 時 分 ~ 時 分 / 場所: 検察庁 支部			年 月 日

【整理手続対応】
検察官（検察庁）名、手続の種類など、全ての欄の記載が必要です。

費用	記録謄写費用	公判期日等出席の旅費等	通訳人費用
<input type="checkbox"/> 別紙「【国選被害者参加】謄写料・訴訟準備費用請求書」に記載(要疎明資料添付)	<input type="checkbox"/> 別紙「旅費等請求書」に記載	<input type="checkbox"/> 別紙「【国選被害者参加】通訳料請求書」、「【国選被害者参加】通訳に伴う文書作成料請求書」	
<input type="checkbox"/> 複数選定であった			

【記録謄写費用】
添付の領収書等に、謄写請求日・支払日等が記載されていない、単価が読み取れない（枚数から算出できない）場合は、確認のためご連絡いたします。

【選定取消し等による活動終了】
該当するものを選択のうえ、必要事項を記載してください。
※ 選定後に公判期日等が開かれなかった場合も、こちらにご記入ください。

【国選被害者参加】謄写料・訴訟準備費用請求書」に記載(要疎明資料添付)
することができる最初の公判期日の前日までに、被害者参加人と電話又は面談による打合せ等を行った(選定前から、選定に係る事件について打合せ等を行っていた場合を除く。)
被害者参加人に対する打合せ・協議等の申入れを行った
被害者参加人が出席することができる最初の公判期日に出席した
被害者参加弁護士の責めに帰することができない理由により記録の閲覧及び謄写をしなかった

【理由】()

被害者参加人が出席することができる最初の公判期日の前に、選定の取消しその他の事由により活動を終了したとき

① 被害者参加人との打合せ・協議等を行った(選定前に行われた選定に係る事件に関するものを含む。)

② 記録の閲覧又は謄写を行った

③ 記録の閲覧又は謄写を行った上、当該記録を十分に検討した

④ 被害者参加人との打合せ・協議等を行い、かつ、記録の閲覧又は謄写を行った

⑤ 被害者参加人との打合せ・協議等を行い、かつ、記録の閲覧又は謄写を行った上、当該記録を十分に検討した

●打合せ・協議等の日時: 年 月 日 時 分 ~ 時 分 / 場所:

●①、④、⑤において、被害者参加人と打合せ・協議等を行っていない場合で、その申入れは行っていたとき
申入れの日時: 年 月 日 時 分

●記録の閲覧又は謄写をした日: 年 月 日

旅費等請求書(兼遠距離接見等加算報酬請求書)① (弁護・付添・被害者参加共通)

書式4-B④
(R6.4.1版)

⑤宿泊料の請求及び特殊事情の報告については、旅費等請求書②<宿泊料・特殊事情>へ記載。

事件番号: 年()第 号 提出日

弁護士 (登録番号) 【 枚中 枚目】

事務所住所 *自宅住所

⑥自宅発着の移動がある場合は、自宅住所を記載し、出発地(帰着地)の自宅欄にチェック(記載とチェックの両方がない場合は事務所発着とみなす)。

- ★実費を請求しない場合は、※マークのみ記載(直線距離に応じた算定額)。
- ★実費を請求する場合は、※マーク以外の各欄も記載。領収証を添付。
- ★1回の移動の中に本件以外の移動を兼ねる場合、目的番号欄(別件)の番号、「按分」欄の当該事件の事件番号、目的番号を併記する。
- ★燃料代を請求する場合は、下記【燃料代の請求】の該当項目にチェック(チェックがない場合、燃料代の請求はないものとみなす)。
- ★私選・私用の場合は目的地の後に(私)と記載。

【自宅住所】
出発又は帰着地が自宅の場合、自宅住所の記載が必要です。

出張の目的(8kmを超える)	遠距離接見(面会)、遠距離打合せ・協議等の目的(25km以上)
①公判(審判)期日等出頭【被告人・付添・被害者】 ②整理手続期日出頭【被告人】 ③第1回公判期日前の証人尋問、証拠保全期日出頭【被疑者・被告人】 ④勾留理由開示期日出頭【被疑者・被告人】 ⑤裁判員選任手続期日出頭【被告人】 ⑥その他の手続期日出頭【被告人・付添】 ⑦付添事件の裁判官、家裁調査官との打合せは、⑥と記載。	⑦接見・面会【被疑者・被告人・付添】 ⑧被害者参加人との打合せ・協議等【被害者】 ⑨検察官との打合せ・協議等【被害者】 ⑩記録の閲覧・謄写【被告人・付添・被害者】 ……履行補助者の場合「⑩A」 ⑪準抗告の申立て【被疑者】 ⑫示談交渉【被疑者・被告人・付添】 ⑬事件(犯行・非行)現場の確認【被疑者・被告人・付添・被害者】
	⑭目撃者、証人予定者、事件関係者、親族、身元引受人等との打合せ【被疑者・被告人・付添】 ⑮目撃者(関係者)からの事情聴取その他の活動【被害者】 ⑯保釈保証金の納付【被告人】(保釈請求は対象外) ……履行補助者の場合「⑯A」 ⑰鑑別技官との打合せ【付添】 ⑱少年の保護者、学校関係者、雇用主、補導委託先関係者等との打合せ【付添】

※【被疑者】…被疑者国選事件 【被告人】…被告人国選事件 【付添】…国選付添事件 【被害者】…被害者国選事件

【日付】
報告書に記載された公判期等と不一致の場合が多いため、ご注意ください。

日付	※ 年 月 日	移動手段 (○をつける)	新幹線 有料特急	経路 (車と公共交通機関の併用は、車の利用)
出発地	※ <input type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> 自宅	車 電車 バス 飛 船 他()	<input type="checkbox"/>	-
↓	※場所(名称、個人宅は住所、以下同じ)	車 電車 バス 飛 船 他()	<input type="checkbox"/>	-
↓	※目的番号	車 電車 バス 飛 船 他()	<input type="checkbox"/>	-
↓	<input type="checkbox"/> 本件 番	車 電車 バス 飛 船 他()	<input type="checkbox"/>	-
↓	<input type="checkbox"/> 別件 番	車 電車 バス 飛 船 他()	<input type="checkbox"/>	-
↓	<input type="checkbox"/> 本件 番	車 電車 バス 飛 船 他()	<input type="checkbox"/>	-
↓	<input type="checkbox"/> 別件 番	車 電車 バス 飛 船 他()	<input type="checkbox"/>	-
↓	<input type="checkbox"/> 本件 番	車 電車 バス 飛 船 他()	<input type="checkbox"/>	-
↓	<input type="checkbox"/> 別件 番	車 電車 バス 飛 船 他()	<input type="checkbox"/>	-
↓	<input type="checkbox"/> 往復路同一の経路・金額を請求する	車 電車 バス 飛 船 他()	<input type="checkbox"/>	-
↓	<input type="checkbox"/> 月 日 日の経路に同じ	車 電車 バス 飛 船 他()	<input type="checkbox"/>	-
↓	帰着地	車 電車 バス 飛 船 他()	<input type="checkbox"/>	-
↓	※ <input type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> 自宅	車 電車 バス 飛 船 他()	<input type="checkbox"/>	-
↓	他の国選事件(事件の種類別)	車 電車 バス 飛 船 他()	<input type="checkbox"/>	-
↓	事件番号 年()第 号	車 電車 バス 飛 船 他()	<input type="checkbox"/>	-
↓	当事者名	車 電車 バス 飛 船 他()	<input type="checkbox"/>	-
↓	目的地	車 電車 バス 飛 船 他()	<input type="checkbox"/>	-
↓	按分	車 電車 バス 飛 船 他()	<input type="checkbox"/>	-
↓	<input type="checkbox"/> 弁護・付添	車 電車 バス 飛 船 他()	<input type="checkbox"/>	-
↓	<input type="checkbox"/> 被害者参加	車 電車 バス 飛 船 他()	<input type="checkbox"/>	-
↓	事件番号 年()第 号	車 電車 バス 飛 船 他()	<input type="checkbox"/>	-
↓	当事者名	車 電車 バス 飛 船 他()	<input type="checkbox"/>	-
↓	目的地	車 電車 バス 飛 船 他()	<input type="checkbox"/>	-
↓	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3	車 電車 バス 飛 船 他()	<input type="checkbox"/>	-
↓	事件番号 年()第 号	車 電車 バス 飛 船 他()	<input type="checkbox"/>	-
↓	当事者名	車 電車 バス 飛 船 他()	<input type="checkbox"/>	-
↓	目的地	車 電車 バス 飛 船 他()	<input type="checkbox"/>	-
↓	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3	車 電車 バス 飛 船 他()	<input type="checkbox"/>	-

【出発地・帰着地】
出発地・帰着地のチェック漏れが多いため、ご確認ください。

【目的番号】 (上記オレンジ枠参照)
未記入がないかご確認ください。
※ 目的番号は被疑者・被告人等と混同しないようご注意ください。

燃料代の請求 (自動車移動の場合) ガソリン 軽油

【燃料代の請求】
目的地までの移動に自動車を使用し、燃料代を請求される場合、いずれかにチェックが必要です。